

古墳時代（3世紀後半～8世紀前半710年 ※593～710は、飛鳥時代でもある。）

### ■300年ころ、弥生後半～古墳初め、超強力な国家、誕生…

中国で、三国時代（220～280）が終わりを迎えた[3世紀後半]

日本では、邪馬台国に変わり、

[1★ヤ ] という、とても強力な国家が生まれました。

そしてその政府を、大和朝廷といい、

王を [2 ダ ] (のちの天皇) と呼びます。

そして、有力な豪族や王の墓は、[3★コ ] と呼ばれ、

5世紀には、[4★ゼ ] 墳などが主流となり、

全国に広がりました。

よって、この国家が栄えた6世紀末ころまでを、

[5★コ ] 時代といいます。

### ■日本最大の前方後円墳…

最大の古墳は大阪の [6★ダ ] 古墳です。

古墳のまわりには [7★ハ ] が置かれていました。

日本のトップについて。  
紀元前4世紀～紀元後3世紀の弥生時代と、3世紀後半の古墳時代の間、王と呼ばれていた。

初の天皇は、3～4世紀に即位した第10代の崇神天皇(初代神武天皇と同一人物)が有力だと言われている。

※33代の推古天皇が、初めての天皇だとする説もある。  
(天皇=大王)



豪族や王のお墓：これは、大阪府堺市にある仁徳天皇のお墓。

3世紀後半(280ころ)、有力な豪族が大和政権を形成し、お墓を古墳にしたことから、このころからの時代を、古墳時代と言う。

401～500(5世紀)には、王は、大王と呼ばれ、有力な大王は、前方後円墳という古墳を作り、古墳の周りには、埴輪を置いた。

古墳の内部には、銅鏡、玉、銅剣、かんむり、馬具、武器などが納められた。

人々は、太陽神、へび神を信仰し、国のおこりや大和政権の神話や伝承も、まとめられた。

古墳の石室の壁に描かれていた絵。死後の世界を表している。



はにわ。古墳を守る、柵の働きがある。「輪」は、古墳をぐるりと囲む様子から。五色塚古墳(神戸市)



古墳を守る人や動物の物がある。「埴」とは、粘土という意味。はにわは、埴輪と書く。



朝廷とは、天皇中心の政治体制のことを指す。

### 解答欄

1. \_\_\_\_\_
2. \_\_\_\_\_
3. \_\_\_\_\_
4. \_\_\_\_\_
5. \_\_\_\_\_
6. \_\_\_\_\_
7. \_\_\_\_\_

### 答え

1. 大和政権
2. 大王
3. 古墳
4. 前方後円
5. 古墳
6. 大仙
7. はにわ

古墳時代（3世紀～8世紀前半 710年 ※593～710は、飛鳥時代でもある。）

### ■匈奴きょうどによる攻撃で、晋は南部へ逃げて…

中国は5世紀半ば(439～)ころから、晋に代わって、南部を[1★ソ]が支配しました。

ここからしばらく、北朝の北魏と、南朝の[2ソ]による南北朝時代が続きました。

(平安時代後半に、平清盛が貿易を行った宋とは、別の宋です。)

中国と朝鮮半島では、匈奴が万里の長城を攻略→晋が南に逃げ…魏が北部を占拠、そして晋が宋になって…

### ■楽浪郡が高句麗によって…

というように、この4世紀から5世紀ころ、中華が動いていることを察した、中国東北部にいた[3★コ]が、朝鮮半島の北を治めていた[4★ラ]を313年に滅ぼし、領土を広げていきました。

そして、

[5★コ]が南下してくるかもしれない。

このままではまずいと、朝鮮半島南部の人々は、

4世紀ころ、左から、

[6★ク]と[7★シ]が、国家をきっちり作り上げて、

臨戦態勢を整えました。



5世紀中盤～6世紀末ころ(439～589)の中国を南北朝時代と言う。北の北朝は魏(北魏)が、南の南朝は宋(南宋)が支配していた。

中国では、4世紀(301～400)ころ、国内は分裂し、五胡十六国時代になっていた。晋もいた。それが5世紀になると、宋と魏による、南北朝時代となっていった、というわけである。

そんな中国の混乱に目を付けた朝鮮半島北部の高句麗は、4世紀ころに誕生した百濟と新羅とともに、対立をしていた。朝鮮半島南部の伽耶は、対立構造からは、地理的に少し外れていたため、ひっそりとしていた。

そんなとき日本(大和政権)は、地理的に近い百濟、伽耶と組んで、高句麗、新羅と戦ったのだ。詳しくは次のページ以降へ。

解答欄

1. \_\_\_\_\_
2. \_\_\_\_\_
3. \_\_\_\_\_
4. \_\_\_\_\_
5. \_\_\_\_\_
6. \_\_\_\_\_
7. \_\_\_\_\_

答え

1. 宋
2. 宋(南宋)
3. 高句麗
4. 楽浪郡
5. 高句麗
6. 百濟
7. 新羅

古墳時代（3世紀～8世紀前半 710年 ※593～710は、飛鳥時代でもある。）

## ■日本はどさくさ、が得意 その1…

5世紀ころの大和朝廷の大王も、この中華の混乱を知り、どさくさに紛れて、

〔1★チ〕半島の〔2★ナ〕を支配しようと、中国の南朝のボスである〔3★ソ〕に、使いを送りました。

ワカタケルが書いたその手紙には、


「北部の高句麗がじゃまなので、私を励ましてください」とあったそうです。

また、この使いは、6世紀ころまで続き、

倭の五王（讃さん、珍、済せい、興こう、武の5人）が、主に交渉していたことが、「宋書倭国伝」に書かれています。

中国の南朝の宋（南宋）からもらった刀には、

〔4ワ〕大王と刻まれていました。そしてこの刀は、埼玉県、〔5イ〕古墳から見つかりました。

 倭王武の手紙  
〔宋書〕倭国伝 部分要約  
私の祖先は、自らよろいやかぶとを身に着け、山や川をかけめぐり、東は55国、西は66国、さらに海をわたって95国を平定しました。しかし私の使いが陛下の所に貢ぎ物を持っていくのを、高句麗がじゃまをしています。今度こそ高句麗を破ろうと思しますので、私に高い地位をあたえて激励してください。

大和政権の大王が、送った、手紙の様子。

5世紀(401～500)ころの宋（南朝）の歴史書によると、倭の王たちは、

日本での地位と、朝鮮半島南部（日本に近いから）の軍事的な指揮権を認めてもらおうと、たびたび宋に使いを送ったらしい。

（倭の五王）  
讃・珍・済・興・武。



中国の宋の皇帝からもらった刀。ワカタケル大王と刻まれている。

## 解答欄

1. \_\_\_\_\_
2. \_\_\_\_\_
3. \_\_\_\_\_
4. \_\_\_\_\_
5. \_\_\_\_\_

## 答え

1. 朝鮮
2. 南部
3. 宋
4. ワカタケル
5. 稲荷山

古墳時代（3世紀～8世紀前半 710年 ※593～710は、飛鳥時代でもある。）

■日本は百済、伽耶と仲がいいので…

大和政権は5世紀に、高句麗と戦いたいで、朝鮮半島の南部を支配させてくれと、宋と交渉しつつ、



日本の古墳から出土した、鉄ののべ板。伽耶地域は、鉄の産地。日本は、伽耶から鉄を輸入していた。

日本に近くて、4世紀からすでに交流のあった [1★ク ] と [2★カ ] とともに、高句麗と戦争を始めました。 ※東部の新羅は、ちょっと遠くて国交は少なかったようです。

この戦乱を逃れた多くの朝鮮人たちは、[3★ト ] と呼ばれ、日本にやってきました。

須恵器：渡来人が伝えた土器。正確には、渡来人が教えてくれたのは「窯」。高温が出せたので、かたい土器が作れた。



彼らは、農業用の [4 タ ] 池や、黒っぽい [5 ス ] 器を作る技術、そして漢字、儒学を、6世紀（538年に百済の王から）には、[6★ブ ] 教が伝わりました。

ちなみに倭人は、高句麗の騎馬軍団と戦うことで、馬は、荷物を引くだけでなく、乗って走ることができるんだ、と知ったそうです。また、これにより、5世紀からの古墳には、馬具も埋葬されるようになりました。



- A [7 ]
B [8 ]
C [9 ]
D [10 ]

解答欄

- 1.
2.
3.
4.
5.
6.
7.
8.
9.
10.

答え

- 1. 百済
2. 伽耶 (かや)
3. 渡来人
4. ため
5. 須恵
6. 仏
7. 高句麗
8. 新羅
9. 百済
10. 伽耶